

新保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」ことが明記されています。よって、小鳩保育園では、これに基づき検討し、保育園としての自己評価について、評価

〈評価について〉

評価するにあたっては、以下のような基準で行っています。

- A : 90%以上・・・かなりできている
- B : 70～89%・・・ほぼできている
- C : 50～69%・・・あまりできていない
- D : 49%以下・・・ほとんどできていない

(1) 保育の計画性

評価項目		評価
1、園の保育理念・保育方針の理解について		
①	園の保育理念や保育方針を理解している	B
2、保育所保育指針の理解について		
①	保育所保育指針を理解していると思う	B
3、保育計画の作成と環境構成		
①	保育計画は、幼児の興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活等を考慮して作成している	B
②	行事は、幼児の生活上の意義を十分検討した上で、保育計画に組み入れている	B
③	保育計画に基づいて、幼児が主体的に関わりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をしている	B
④	楽しい雰囲気の中で、安定して遊びこめるように遊具や用具、素材など質、数量を考慮して環境構成している	B
⑤	幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている	B
4、保育と計画の評価・反省		
①	自分の保育を振り返り、評価反省を行い、次の保育と計画に生かせるように行っている	B
<p>〈まとめ〉全体的に「ほぼできている」という評価なので、「かなりできている」になるため、職員会議での読み合わせなどを行い、さらに理解を深める努力が必要である。</p>		

## (2) 保育のあり方、幼児への対応

### 評価項目

### 評価

1、健康と安全への配慮		
①	年間保健計画表に基づき子どもの健康管理を行っている	B
②	朝の登園時は視診を大切に、体調が悪くないか、ケガ、虫さされがないか確かめている	A
③	体調が悪そうな時は、静かに寝かせたり検温するなど適切な処置を行い、必要な時は家庭は連絡している	A
④	身長・体重などの測定を定期的に行い家庭に知らせると共に、バランスのとれた発育が促されるように配慮している	A
⑤	感染症の予防に努め、保護者にも伝達している	A
⑥	気候や子どもの活動に合わせて、温度、湿度、換気などに配慮している	A
⑦	園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるように配慮している	B
⑧	保護者から健康状態などの申し出を受けるなど、乳幼児の健康情報を共有し、アレルギー、熱性けいれん、脱臼癖などの既往症について把握している	B
⑨	やむを得ず与薬が必要な場合は、「与薬依頼書」を徴収し、1回分だけ預かり、確実に飲ませている	A
2、乳幼児への関わり		
①	子どもとの温かなやりとりや、スキンシップを常に心掛けている	A
②	子どもが遊びや活動を深めていくためのヒントやアイデアを提供している	B
③	必要以上に禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせる言葉や態度はできるだけ控えている	B
④	幼児の家庭環境や、これまでの生育歴を考慮して関わっている	B
⑤	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉掛けや対応をしている。また、情報を共有している	B
⑥	配慮を必要とする幼児については、園の保育者全体でよく話し合い、共通理解を持って工夫して対応している	B
⑦	(乳児)授乳は子どもの欲しがる時に抱いて目を合わせたり、頬笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている	B
⑧	(乳児)オムツ交換時は優しく声をかけたりスキンシップをとりながら行っている	A
⑨	(乳児)家庭と連携を取りながら、一人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い、様々な食品に慣れ、食への意欲を育てている	B
⑩	(乳児)十分な睡眠がとれるよう静かな環境を整え、午睡の状態、SIDS(乳幼児突然死症候群)のチェックを記録している	B
⑪	(乳児)一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の排泄のリズムに合わせて、オムツ交換をしたり、トイレに促している	B
⑫	(乳児)落ち着いた雰囲気の中で抱いたり語りかけたりして、乳幼児が人との関わり楽しさや心地よさを味わえるようにしている	B
⑬	(乳児)泣いたりぐずったりのサインを見逃さず、要求に応じた適切な対応をしている	B
⑭	(乳児)乳幼児期は身体的条件や生育環境などの違いにより、一人ひとり心身の発達に個人差が大きいことを理解し関わっている	B
<p>&lt;まとめ&gt; 子どもは「遊び」によって成長していく事を理解し、遊びや活動を深めていく工夫が必要である。今、子どもたちが何に興味を持っているか、よく観察し、その好奇心を満たす環境作りに取り組む事が大事である。</p>		

### (3) 保育者としての資質や能力・良識・適性

評価項目		評価
1、専門家としての能力・良識・適性		
①	保育に携わる者として、専門知識や技能を身につける努力をしている	B
②	保護者との信頼関係を得るために努力している	B
③	保育者の人間性が子どもたちに影響を与える事を自覚している	A
2、良識とマナー		
①	幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている	B
②	朝と帰りの挨拶は明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表している	A
③	園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使っていない	A
④	服装、髪型、髪色、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気を付けている	A
3、義務		
①	教材、教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行している	B
②	締め切りのある仕事や、提出物の締切日、会議や打ち合わせの時間をきちんと守っている	B
4、組織の一員としてのあり方		
①	子どもの事、クラスの出来事、保護者からの苦情等、必要な事は園長や主任に「報告・連絡・相談」している	B
②	当番や役割による仕事を理解し、確実にやっている	B
③	社会情勢や季節の変化などを感じる感受性を大切にしている	B
〈まとめ〉 日常から、職員間や保護者とのコミュニケーションを大切にして、風通しの良い環境にしていく。		

### (4) 保護者への対応・守秘義務

評価項目		評価
1、情報の発信と受信		
①	「園・クラスだより」などで保育実践の内容や意図、クラスや子どもの様子を、写真やイラストを活用してわかりやすく伝える努力をしている	B
②	個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、連絡帳、電話等を使って伝えあっている	A
③	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するように努めている	B
④	保護者からの様々な訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視したりせず、園長、主任等に報告や相談している	B
2、守秘義務の遵守		
①	職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない	A

	②	秘密情報(保護者・園児等に関する個人情報、および園の運営上の情報、保育技術、保育計画等の情報)については園長の許可なく使用、開示漏えいしていない	A
	③	秘密情報の書類、電子データのコピーは園長の承認を受けた物のみ、必要最小限にし、必要がなくなった場合は適切に処分している	A
<b>3、対応上のマナー・良識</b>			
	①	親しくなったからと言っても、保護者と友だち同士のような話し方をしていない	A
	②	保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している	B
	③	長期の欠席や入院等の場合は、見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている	B
	④	保護者の国籍、思想、宗教により、また、子どもの性差、障害、個性差によって、区別、差別していない	A
<b>4、クレームへの対処</b>			
	①	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に、連絡、報告、相談している	A
<p>&lt;まとめ&gt; 保護者の育児への不安や悩み、養育方針に耳を傾け、少しでも不安の解消につなげたい。また、園内での子どもたちの様子を成長の過程が伝わるように、そしてそれが育児の楽しみ、励みになるように伝えていくべきである。</p>			

## (5) 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

評価項目		評価	
	①	研修会・研究会に参加する場合は自己課題・向上心を持って参加し、参加後は速やかに研修報告書を提出している	B
	②	子どもたちの安心・安全に関する危機管理について興味・関心を持っている	A
<p>&lt;まとめ&gt; 研修会など、自身を高める機会を増やしていき、保育の質の向上につなげていく。</p>			

## (6) 子育て支援について

評価項目		評価	
<b>1、入所児の保護者の育児支援</b>			
	①	子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	B
	②	連絡帳や掲示板などできめ細やかに情報交換している	B
<p>&lt;まとめ&gt; 園での様子や、子どもの成長を細目に伝え、ご家庭と連携を取っていく。</p>			